

文部科学省「平成26年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」
における徳島県公立学校の調査結果について

1 調査結果の概要

②いじめ（後日公表）以外の主な4つの調査項目（①暴力行為、③小・中学校における不登校、④高等学校における不登校、⑤高等学校における中途退学）について前年度と比較し、暴力行為の発生件数・不登校児童生徒数は、小学校で増加したことに對し、中学校では減少した。高等学校では、不登校生徒数が微増し、中途退学者数は減少した。いずれも全国値を下回っている。

① 暴力行為

「生徒間暴力」（175件[59.7%]）、対教師暴力（67件[22.9%]）、器物損壊（44件[15.0%]）、対人暴力（7件[2.4%]）となっている。

校種	生徒間暴力	対教師暴力	器物損壊	対人暴力	合計(件)
小学校	22 [48.9]	16 [35.6]	7 [15.6]	0 [0]	45
中学校	122 [58.9]	49 [23.7]	32 [15.5]	4 [1.9]	207
高等学校	31 [75.6]	2 [4.9]	5 [12.2]	3 [7.3]	41
合計(件)	175	67	44	7	293

[]内はパーセント

② いじめ

「いじめ」の調査については、見直しを行っているところであり、10月下旬の公表を予定している。

③ 小・中学校における不登校

「不登校になったきっかけと考えられる状況」（複数回答可）は、小学校では「不安など情緒的混乱」（37人[29.6%]）、「無気力」（34人[27.2%]）、「親子関係をめぐる問題」（27人[21.6%]）、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」（12人[9.6%]）などとなっており、中学校では「不安など情緒的混乱」（115人[23.2%]）、「無気力」（104人[21.0%]）、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」（103人[20.8%]）などとなっている。

④ 高等学校における不登校

「不登校になったきっかけと考えられる状況」（複数回答可）は、「無気力」が35人（25.0%）、「該当項目のない本人に関わる問題」30人（21.4%）、「不安など情緒的混乱」が24人（17.1%）、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が8人（5.7%）などとなっている。

⑤ 高等学校における中途退学

中途退学の理由は、「もともと高校生活に熱意がない」が36人（18.8%）、「就職を希望」が20人（10.4%）、「人間関係がうまく保てない」と「学校の雰囲気合わない」が16人（8.3%）などとなっている。

2 徳島県公立学校調査結果の推移

① 暴力行為件数

(単位：件)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	14	22	27	21	45
中学校	303	289	275	275	207
高等学校	91	84	52	57	41
県合計(千人あたり件数)	408(5.0)	395(4.9)	354(4.5)	353(4.6)	293(3.9)
全国合計(千人あたり件数)	56,090(4.5)	51,736(4.2)	51,906(4.2)	55,329(4.5)	50,927(4.2)

注：平成25年度から高等学校通信制課程も調査対象に含めているため単純比較はできない。

② いじめ認知件数

「いじめ」の調査については、見直しを行っているところであり、10月下旬の公表を予定している。

③ 小中学校不登校児童生徒数

(単位：人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	165	133	92	105	125
中学校	664	599	532	533	495
県合計(千人あたり人数)	829(13.6)	732(12.2)	624(10.7)	638(11.1)	620(11.0)
全国合計(千人あたり人数)	116,484(11.5)	114,039(11.3)	109,306(11.0)	115,784(11.8)	118,789(12.2)

④ 高等学校不登校生徒数

(単位：人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
徳島県(千人あたり人数)	311(15.5)	287(14.5)	202(10.3)	118(6.1)	140(7.3)
全国合計(千人あたり人数)	42,852(18.2)	43,969(18.8)	45,080(19.3)	43,179(18.8)	41,555(18.2)

⑤ 高等学校中途退学者数

(単位：人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
徳島県(出現率%)	310(1.5)	258(1.3)	250(1.3)	252(1.3)	192(1.0)
全国合計(出現率%)	38,372(1.6)	37,483(1.6)	35,966(1.5)	38,602(1.6)	33,994(1.4)

注：平成25年度から高等学校通信制課程も調査対象に含めているため単純比較はできない。

3 今後の取組

暴力行為件数については、近年減少傾向にあり、千人あたりの件数は今回、全国値を下回った。不登校については、千人あたりの小中学校不登校児童生徒数が、3年連続して全国値を下回り、高等学校では、数的には増加したものの千人あたりの値としては全国値を下回っている。これは、各種対策が功を奏しているものと考えている。

今回の調査結果について個別に分析し、課題を明らかにするとともに、「徳島県いじめ問題等対策審議会」及び「徳島県いじめ問題等対策連絡協議会」において幅広い意見を求め、さらなる対策を検討し、課題解決をめざす。